

はじめに

本書は、毛呂山町（埼玉県）周辺の和算と歴史的事項を題材として、定年後に書いてきたもののうち主だったものをまとめたものです。

定年後のライフワークとして、和算を勉強してみようと思ったのは定年の二年程前でした。それもただ一般的に勉強するのではなく、生まれ育った毛呂山周辺（毛呂山と飯能市・ときがわ町・小川町等々）に的を絞り、具体的に調査をしてみようと思いました。和算の調査は、数学的な興味と共に歴史的な事項が絡むので、少々の歴史好きの者にとつては格好の選択でした。そして歴史好きは和算抜きの特発的な題材にも興味を持つことにもなりました。

本書では和算関係を八編、歴史随想として一五編を載せました。これらは、『あゆみ』（毛呂山郷土史研究会）、『埼玉史談』（埼玉県郷土文化会）、『古文書はむら』（羽村古文書研究会）などに発表したものですが、未発表のものもあります。

本書を手にした方が一編でも興味を持って頂けるものがあれば幸いです。

令和六辰（二〇二四）年一月一日

山口正義

和算と歴史随想 毛呂山周辺を題材として 目次

和算	1
一章 毛呂周辺の算額 〈十四面の算額の概要〉 (小川町・鳩山町・飯能市他)	3
二章 慈光寺の算額 〈県内で白眉たる算額〉 (ときがわ町)	27
三章 円正寺の算額の謎 〈算額の答は間違いか〉 (鳩山町)	36
四章 宝薬寺の算額 〈多数の門人名〉 (嵐山町)	40
五章 算者の落穂拾い 〈平山山三郎は吉田勝品門人〉 (毛呂山町)	44
六章 二宮神社の算額 〈都内現存中最古の算額〉 (あきる野市)	51
七章 千葉歳胤が行った計算 〈円周率を計算〉 (飯能市)	59
八章 飯能の和算家・石井弥四郎和儀 〈高度な問題を解く〉 (飯能市)	67
歴史随想	81
九章 江戸宿谷氏の改易について 〈知られざる改易理由〉 (毛呂山町)	83
一〇章 能登の宿谷氏について 〈ルーツは毛呂の宿谷氏か〉 (毛呂山町・能登町)	98

一章	慈光寺の銅鐘は盤渉調なり	〈銅鐘の調子を探る〉	(ときがわ町)	109
二章	千葉歳胤と児玉空々	〈二人の師は同人物〉	(飯能市・毛呂山町・八潮市)	123
三章	虚無僧の歴史の一断面	〈虚無僧の実像〉	(青梅市)	146
四章	大谷木村の秣場争論概要	〈秣場騒動の実像〉	(毛呂山町)	165
五章	俠客・高萩万次郎	〈知られざる大親分〉	(日高市)	184
六章	尾張屋三平のこと	〈新吉原で活躍した男〉	(越生町)	211
七章	天明義挙の碑(豊饒碑銘)	〈天明飢饉の一断面〉	(羽村市)	229
八章	武州鼻緒騒動を知る	〈知られざる大騒動とは〉	(毛呂山町・越生町)	234
九章	武州一揆、名栗村の場合	〈村役人と主謀者たち〉	(飯能市)	252
二〇章	はじめての拓本取り	〈ハプニングの連続〉	(毛呂山町・横瀬町)	256
二一章	権田直助関連二題	〈二つの文書に言及〉	(毛呂山町・越生町)	260
二二章	渋沢栄一関連三題	〈幻の清流峠の漢詩他〉	(毛呂山町・日高市)	281
二三章	天変地異と古文書	〈地震と古文書〉	(瑞穂町・武蔵村山市他)	287
(コラム)	宿谷の滝	………	………	292